



小国町立小国中学校

令和4. 12. 2 (金)No25

文責 狭間卓史



「健康な日々を」

気がつけば12月。サッカーワールドカップのテレビ観戦に睡眠不足気味の人もいるのではないと思われる2日(金)の朝を迎えています。登校中の生徒からも「日本 VS スペイン」戦の話題が挙がっていました。

その一方で、新型コロナウイルス感染症の第8波も懸念されています。本町内でも油断出来ない状況が続いており、それは本校も同様です。また、今後はインフルエンザの流行についての懸念もあります。この後のワールドカップの応援も、感染に気をつけながらの観戦を心がけていくしかありません。どうかこの週末も気をつけてお過ごしください。

今回の通信では、日常の健康的な生活の土台づくりについてお伝えします。先月11月は、小国町ケーブルテレビで「歯と口の健康」についての放送が行われていました。この取組は町役場の保健師さん方の企画でしたが、本校保健委員会にも声をかけていただき、首藤養護教諭と共に本校生徒が参加させていただきました。その内容は、

11/4 ~ : 「子どもの歯と口の健康について」

11/11 ~ : 「虫歯とおやつについて」

11/25 ~ : 「大人の歯と口の健康について」

以上三本のプログラムへの参加でした。

年齢を重ねれば重ねるほど歯の大切さを痛感します。自身の健康づくりの土台作りとして、歯と口の健康維持への意識を高めていきたいものです。

本校委員会活動ではこの取組以外でも、「健康絵本づくり」に取り組んでいます。完成後の活用については様々なアイデアがありますが、そのことについてはまた別の機会にあらためてお伝えします。



【発表内容の打ち合わせ】



【みんな頑張りました】

「安心して学べる学級・学校を目指して」

先月22日は、小国小中学校や小国支援学校を会場に、「阿蘇郡市人権同和教育授業研究会」が開催されました。本校からは内村教諭と8年1組生徒による研究授業を提案しました。当日は60人を超える参観者の申し込みがあったことから、ランチルームを教室として使用し、換気等にも十分留意しての開催でした。今回の研究授業の工夫として、日常の教科としての授業で人権教育の視点に立った授業作りをどのように進めていけばいいのかということが内村教諭のこだわりでした。授業後に開催された「授業研究会」という名称の反省会では、参観された方々から様々な貴重なご意見をいただきました。今回の取組の成果は、これからの内村教諭の実践はもとより、本校職員の実践につなげてこそです。頑張ります。

本町が掲げるSDGsのまちづくりの一つが、誰もが暮らしやすい「住み続けられるまちづくり」の実現です。そのためには、身の回りのいじめや差別をきちんと見抜き、正していく力が必要です。これからも学級や学校での生活をより確かなものにしていきたいと、そう思っています。

※この通信のカラー版は、「小国中学校ホームページ」でご覧いただけます。



【貴重な学びの時間となりました】



【大勢の前でも堂々と発表出来ました】